遅ればせながら

あけまして

おめでとう

ございます

今後の本授業の予定: テーマは情報の発信

- 1/12(今回・見做し月曜日):
  HTML による web page 作成 (2)
- 1/17(月): プレゼンテーション大会 (1)
- 1/24(月): プレゼンテーション大会 (2)

プレゼンテーション大会

2 回に亙って全員に
プレゼンテーションソフトを用いた発表
をしてもらいます

- 内容：何かを勧める
- 持ち時間：1 分 〜 1 分半 (時間厳守)
- 資料枚数：表紙 ＋ 3 枚程度か
- プレゼンテーション資料の事前提出：
  1/14(金) まで
  にメイル添付で提出 (詳細は後で説明)

プレゼンテーション大会

プレゼンテーション資料の事前提出要領:

- **1/14(金)** までにメイル添付で提出
- **スライドショー形式** (`.ppsx`) で提出
- 添付ファイル名は学生番号 (`A10xxyyy.ppsx`)
- メイルの件名は `presen`
- メイル本文に学生番号・氏名・題目を記載
  (1 行づつ改行して行頭から)

  `ID:A10xxyyy`
  `Name:`**何野某**
  `Title:`**何とかのお勧め**

  これを怠っている者は、

  この部分だけ再提出のこと

前回・今回は

ウェブサイト作成

HTML 文書を作る
(HyperText Markup Language)

実習 (前回)

本授業のウェブサイト

`http://pweb.cc.sophia.ac.jp`
`/tsunogai/kougi/10/jolite.html`

に用意したサンプル HTML ファイル

`sample.html`

をダウンロード

- **Firefox: [右クリック] ⟶ [Save Link As ...]**
- **IE: [右クリック] ⟶ [対象をファイルに保存]**

⟶ `O:` **ドライブの授業用フォルダに保存**
(ファイル名を `index.html` に変更のこと)

実習用ウェブサーバ

授業実習では、

学内のみに公開されたウェブサーバ

`lctweb.cc.sophia.ac.jp`

を使う

各人の URL は

`http://lctweb.cc.sophia.ac.jp/~A10xxyyy/`

以下になる

(一般に大文字小文字を区別するので注意)

学内のみに公開されたウェブサーバで授業実習を行なうのは何故か？

- 限定された (守られた) 環境で技術・マナー・倫理を身に着ける
  - ⋆ うかつに個人情報を記載しない
  - ⋆ 不確実な情報を記載しない
  - ⋆ 誹謗・中傷・犯罪行為を行なわない
- 練習中のページを世界中に撒き散らさない
  - ⋆ インターネットは巨大なデータベース
  - ⋆ 情報検索の精度を劣化させない

壁には二種類の用途がある

学内のみに公開されたウェブサーバで授業実習を行なうのは何故か？

- 限定された (守られた) 環境で技術・マナー・倫理を身に着ける
  - ⋆ うかつに個人情報を記載しない
  - ⋆ 不確実な情報を記載しない
  - ⋆ 誹謗・中傷・犯罪行為を行なわない
- 練習中のページを世界中に撒き散らさない
  - ⋆ インターネットは巨大なデータベース
  - ⋆ 情報検索の精度を劣化させない

壁には二種類の用途がある

学内のみに公開されたウェブサーバで
授業実習を行なうのは何故か？

- 限定された (守られた) 環境で
  技術・マナー・倫理を身に着ける
  - ⋆ うかつに個人情報を記載しない
  - ⋆ 不確実な情報を記載しない
  - ⋆ 誹謗・中傷・犯罪行為を行なわない
- 練習中のページを世界中に撒き散らさない
  - ⋆ インターネットは巨大なデータベース
  - ⋆ 情報検索の精度を劣化させない

壁には二種類の用途がある

学内のみに公開されたウェブサーバで授業実習を行なうのは何故か？

- 限定された (守られた) 環境で
  技術・マナー・倫理を身に着ける
  - ⋆ うかつに個人情報を記載しない
  - ⋆ 不確実な情報を記載しない
  - ⋆ 誹謗・中傷・犯罪行為を行なわない
- 練習中のページを世界中に撒き散らさない
  - ⋆ インターネットは巨大なデータベース
  - ⋆ 情報検索の精度を劣化させない

壁には二種類の用途がある

実習 1 (前回)

以下の 2 箇所を自分の ID・名前に直してから、
ウェブブラウザで表示を確認してみよう

<base href=" ～ /~A10xxyyy/index.html">

<h1>**何野某の授業実習用ウェブページ**</h1>

⟶ **ファイルアイコンをクリック**
(拡張子による関連付けにより
ウェブブラウザが起動)

実習 1 (前回): 授業実習用ウェブサーバにファイルをアップロード

とりあえず授業実習用サーバに掲載 (アップロード) してみよう

授業実習用ホームページ (lctweb) サービス

学内のサーバに接続・ファイル転送

$\longrightarrow$ FFFTP を用いる

(FTP = File Transfer Protocol)

ブラウザによる HTML 文書の表示

今掲載した `index.html` では、
文字の大きさなどは特に指定していないが、

見出しの文字は大きめに表示されている

- **元々のテキストデータが内容としてある**
- **HTML では専ら論理指定を行なう**
- **ブラウザが解釈して適切に表示する**

ブラウザによる HTML 文書の表示

ブラウザが解釈して適切に表示するということは
どういうことが起こるか

使っているウェブブラウザや環境によって
見え方が異なる

⟶ 過度に見た目に拘らないこと

参考: テキストベースブラウザ (w3m など)

HTML 文法の基礎の基礎

- テキストを mark up して論理指定する
  ⟶ 内容と論理指定とが共に
  プレインテキストで交ぜ書きされる
- mark up は HTML の**タグ**によって行なう
  - ⋆ タグは < > で囲まれる
  - ⋆ <xxx>から</xxx>までが指定 xxx の範囲
    (対応する</xxx>がないものもある)
  - ⋆ 様々な属性を持つタグがある
    (<xxx yyy="zzz"> の形で指定)

HTML 文法の基礎：構成

- <html> 〜 </html>:
  この間が HTML で書かれていることを示す

- <head> 〜 </head>: ヘッダ部分
  文書に関する情報を記述する

- <body> 〜 </body>: 本体部分
  文書の内容を記述する

HTML 文法の基礎：段落・見出し

- <h★> 〜 </h★>: 見出し (headings)
  - ⋆ レベル ★ = 1 〜 6 まで
  - ⋆ 上のレベルから順に用いるのが原則
  - ⋆ 通常、然るべき大きさ・配置で表示

- <p> 〜 </p>: 段落 (paragraph)
  - ⋆ 地の文は普通この中に書くことになる
  - ⋆ 通常、段落内は画面端で折返し表示
  - ⋆ 通常、段落毎に改行、少々空けて表示

HTML 文法の基礎： 箇条書

- 〜
  ： 番号付き箇条書 (ordered list)
- 〜
  ： 番号なし箇条書 (unordered list)

  ⋆ 各項目は <li> 〜 で囲む
  ⋆ 入れ子にも出来る
  (項目内に更に
   〜 ・ 〜
  が書ける)

HTML 文法の基礎：ハイパーリンク

- <a> 〜 アンカ (anchor・碇)
  - ⋆ リンク先は href 属性で指定

    (Hypertext REFerence)

    従って次の形になる

    `<a href="URL 文字列">`
  - ⋆ URL の指定には絶対指定・相対指定がある
    - ∗ 絶対指定：現在地と無関係に指定
      ⟶ `http://` などから始まる
    - ∗ 相対指定：現在地からの位置関係で指定
      ⟶ `./` や `../` などから始まる

実習 2 (前回)

ハイパーリンクの並んでいる段落を箇条書に変えて、

各リンクをそれぞれ一つの項目としよう

また、各リンクの飛び先が正しいか確かめよう

実習 2 (解答)

- <p> を `<ul>` (または `<ol>`) に変更
- </p> を `</ul>` (または `</ol>`) に変更
- 各項目を `<li>` `</li>` で挟む

文字コードの話

ヘッダ部分の

```
<meta http-equiv="Content-Type"
   content="text/html; charset=Shift_JIS">
```

では本文書の文字コードを示している

計算機内部・相互の処理・通信・記録では、
文字は文字番号 (文字コード) で扱っている

文字コード表＝番号と文字との対応表

文字コードの話

アルファベット・数字などの標準的文字コード

… ASCII コード

(American Standard Code for Information Interchange)

文字	コード	二進表現
'0'	48	00110000
'A'	65	01000001
'B'	66	01000010
'a'	97	01100001
⋮	⋮	⋮

1 文字を 8 bit (1 byte) で表す

文字コードの話

8 **bit (**1 **byte) で表せるのは** $2^8 = 256$ **文字まで**

$\longrightarrow$ **日本語 (漢字) などでは足りなさ過ぎる**

通常 1 **文字を** 2 **byte (以上) で表す**
(多バイト文字・multi-byte character)

2 **byte (**16 **bit) あれば**
$2^{16} = 65536$ **文字まで表せる**

文字コードの話

歴史的事情により、
日本語文字を扱うための文字コードは
複数併存している
(JIS・ShiftJIS・EUC・Unicode など)

文字コード表＝番号と文字との対応表

書いた時と異なる文字コードで読むと
正しく読めない

いわゆる “文字化け”

文字コードの話

歴史的事情により、
日本語文字を扱うための文字コードは
複数併存している
(JIS・ShiftJIS・EUC・Unicode など)

文字コード表＝番号と文字との対応表

書いた時と異なる文字コードで読むと
正しく読めない

いわゆる "文字化け"

文字コードの話

歴史的事情により、

日本語文字を扱うための文字コードは

複数併存している

(JIS・ShiftJIS・EUC・Unicode など)

文字コード表＝番号と文字との対応表

書いた時と異なる文字コードで読むと

正しく読めない

いわゆる "文字化け"

文字コードの話

- いわゆる“半角カタカナ”
  歴史的に或る程度用いられているが、
  標準とされていない
  (使わないとされている番号を使っている)
  ⟶ 相互に了解がなければ使ってはいけない

- いわゆる“独自定義文字・機種依存文字”
  既存 (標準) の文字コード表の“空き”を
  メーカが独自に (勝手に) 使っている
  (丸数字・㈱・㎏・㌧ など)
  ⟶ 一般の他機種では読めない可能性あり

実習 3

**ウェブページ (HTML 文書) をもう一つ
ファイル名 `second.html` で作って、
(コピーして修正すれば良い)**

- **フォルダで `index.html` を
  [コピー] ⟶ [貼り付け]
  ⟶ ファイル名を変更**
- **EmEditor 内で編集中の `index.html` を
  [ファイル] ⟶ [名前を付けて保存]**

拡張子は `.html` のまま

実習 3

index.html から second.html に向けた
リンクを張ろう (相対指定が適当)

```
<a href="./second.html">2 頁目へのリンク</a>
```

また、second.html では、

- base タグ内のファイル名を変更
- 見出しの修正・不要な部分の削除 (適当に)
- index.html に戻るためのリンクを作る

```
<a href="./index.html">玄関ページへ</a>
```

それが出来たらサーバにアップロードして
リンクが辿れるか確認しよう

FFFTP の使い方

- **起動**: [スタート] ⟶ [プログラム] ⟶ [Tools] ⟶ [ファイル転送]

- **終了**: [接続 (F)] ⟶ [終了 (X)] ([Alt + f] ⟶ [Alt+x]) または [ウィンドウ右上の×]

FFFTP の使い方

- **接続**: [接続 (F)] ⟶ [接続 (C)]
  ⟶ [ホスト一覧] でどれかを選ぶ
  ⟶ [接続 (S)]
  ⟶ ユーザ名 (学生番号) を入力 ⟶ [OK]
  ⟶ パスワードを入力 ⟶ [OK]
  ⟶ 接続完了
  - ⋆ 左側: ローカル (こっち側)
  - ⋆ 右側: リモート (向こう側)
- **切断**: [接続 (F)] ⟶ [切断 (R)]

接続を切断してから終了すること

(学内) 公開用ディレクトリの作成

(ディレクトリ: フォルダに相当)

準備として最初の 1 回だけ行なう

- [コマンド (C)] ⟶ [フォルダ作成 (K)]
  ⟶ [フォルダ作成 (ホスト)] でフォルダ名入力
  public_html (半角英小文字＋記号)
  (大文字小文字は区別される)
- 属性確認 (変更)
  今作った public_html をクリックで選択
  ⟶ [コマンド (C)] ⟶ [属性変更 (A)]
  [現在の属性] が **755** なら OK

ファイルのアップロード

ローカル (こっち側) ⟶ リモート (向こう側)

- **リモート側 (右側) のディレクトリ指定:**
  `public_html` **に ([ダブルクリック] で移動)**
- **ローカル側 (左側) のフォルダ指定:**
  `O:¥` ⟶ **授業用フォルダ**
- **ローカル側 (左側) の** `index.html` **を選択**
  ⟶ **[アップロード] (上向き青矢印)**
  または マウスでドラッグ

アップロードしたファイルを見てみる

`http://lctweb.cc.sophia.ac.jp/~A10xxyyy/`

ファイル名を指定しないと `index.html` と仮定
(ウェブサーバの設定)

ソースを確認してみよう

- **IE: [右クリック] ⟶ [ソースの表示]**
- **Firefox: [右クリック] ⟶ [View Page Source]**
  (または [Ctrl+u])

今見ているファイルが
手元のファイルかサーバ上のファイルか
意識して正しく区別・認識せよ

HTML 文法の基礎：表組み

- <table> 〜 </table>：表組み

  罫線が必要なときは

  <table border="1"> 〜 </table>

  等とする ("1"は罫線の太さの指定)

  この中に

  ⋆ <tr> 〜 </tr>：表の１行

    この中に

    ∗ <td> 〜 </td>：表の１項目

- <caption> 〜 </caption>：表の標題

HTML 文法の基礎: 表組み

本授業のウェブサイト

```
http://pweb.cc.sophia.ac.jp
            /tsunogai/kougi/10/jolite.html
```

に用意した HTML ファイル

`kencho.html`

に表組みのサンプルあり

$\longrightarrow$ **ソースを見てみよう**

実習 4

以前 Excel で作った九九の表を HTML の表にしてみよう

- 九九の表を Excel で開く ⟶ [Office ボタン] ⟶ [名前を付けて保存] ⟶ [CSV 形式] ⟶ ファイル名 `kuku.csv`
- `kuku.csv` をエディタで開く ⟶ HTML の表組みのタグを付ける (検索置換を駆使して効率的に!!)
- さっき作ったリンク先の HTML ファイルにコピー&ペースト
- 表示が確認できたらアップロード

本日の実習課題の確認は、

みなさんの URL

`http://lctweb.cc.sophia.ac.jp/~A10xxyyy/`

でのアクセスを確認することで行なうので、

メイル等で提出する必要はない

本授業も

こちらから講義する内容はほぼ終了しました

残るは、

- **1/17(月): プレゼンテーション大会 (1)**
  (000〜499)
- **1/24(月): プレゼンテーション大会 (2)**
  (1 回目の残り・500〜999)

プレゼンテーション大会

2 回に亙って全員に
プレゼンテーションソフトを用いた発表
をしてもらいます

- 内容：何かを勧める
- 持ち時間：1 分 〜 1 分半 (時間厳守)
- 資料枚数：表紙 ＋ 3 枚程度か
- プレゼンテーション資料の事前提出：
  1/14(金) まで
  にメイル添付で提出 (詳細は後で説明)

プレゼンテーション大会

プレゼンテーション資料の事前提出要領:

- 1/14(金) までにメイル添付で提出
- スライドショー形式 (.ppsx) で提出
- 添付ファイル名は学生番号 (A10xxyyy.ppsx)
- メイルの件名は presen
- メイル本文に学生番号・氏名・題目を記載 (1 行づつ改行して行頭から)

  ID:A10xxyyy
  Name:何野某
  Title:何とかのお勧め

  これを怠っている者は、

  この部分だけ再提出のこと

プレゼンテーション大会

評価対象は発表全体 (資料＋口演)

- **資料は見易く解り易いか**
- **口演は聴き易く解り易いか**
- **資料で表示するものと口頭で述べることの切り分けは適切か**
- **「勧める」という目的を達しているか**
- **時間厳守（１分 〜 １分半）**

楽しみにしています

プレゼンテーション大会

評価対象は発表全体 (資料＋口演)

- 資料は見易く解り易いか
- 口演は聴き易く解り易いか
- 資料で表示するものと口頭で述べることの切り分けは適切か
- 「勧める」という目的を達しているか
- 時間厳守（１分 〜 １分半）

楽しみにしています